

水部第一

一衣帯水

国交回復後の日中関係を回顧する

中日邦交正常化后中日关系之回顾

(1972.9—1989.4)

旅日華僑中日交流促進会

一衣帯水

——国交回復後の日中関係を回顧する——

(1972.9—1989.4)

目次

【揮毫】

(日本側)	日中経済協会常任顧問 岡崎嘉平太	6
	衆議院議員 土井たか子	7
(中国側)	鄧 穎 超	8
	中華人民共和国国务院総理 李 鵬	9
	中国人民政治協商会議全国委員会副主席 趙 樸 初	10
	中日友好21世紀委員会中方首席委員 張 香 山	12
	中華全国婦女聯合会副会長 林 麗 韞	13
	中国外交部部長助理 文 遲	14
日中政府共同声明		15
日中平和友好条約		17

【発刊詞】	旅日華僑中日交流促進会代表 林 同 春	19
-------------	---------------------	----

【挨拶文】

(日本側)		
両国人民間の友好の発展こそ永遠の友好の保証	日本中国友好協会会長 宇都宮徳馬	21
中国人民への感謝の気持ちをもって日中友好を	日中経済協会常任顧問 岡崎嘉平太	22
歴史の教訓を汲みとり、日中友好をより一層発展させよう	参議院議員 田 英 夫	23
過去の歴史への真摯な反省を	衆議院議員 土井たか子	24
日中関係の更なる前進に向けて	日本駐中国特命全権大使 中島敏次郎	25
ご挨拶	日中協会会長 向坊 隆	27
日中婦人の力で平和と友好の未来を	平和憲法を守る婦人の会 渡辺 道子	28
	(五十音順)	

(中国側)

中日平和友好条約締結十周年を記念して	中国日本友好協会会長 孫 平 化	30
私の中日両国関係に対する期待	中国駐日本特命全権大使 楊 振 亜	33
ご挨拶	中国人民対外友好協会副会長 黃 世 明	35

【解説と写真】

1. カラーでみる日中友好		37
2. 国交回復後の日中関係(1972.9—1989.4)		101
3. 国交回復前の日中関係(1949.10—1972.8)		225
4. 新しい友好の担い手—広がる友好都市、省県の輪		253

【一衣帯水によせる】

「満州国留日学生会館」から「日中友好会館」へ	日中学院副院長 江尻 健二	298
峠にたって	日本中国友好協会 鹿島 龍男	300
「指紋押捺」に残る中国アジア侵略の傷あと	大阪経済法科大学学長 川久保公夫	302
子子孫孫にわたる友好の隊列を	日中経済貿易センター会長 木村 一三	306
藤山さんと中国	日中科学技術文化センター顧問 今野 良蔵	308
大塚有章と中国	毛沢東思想学院運営委員会委員長 竹田 幸子	311

僧衣と一衣帯水……………	日中友好宗教者懇話会理事長 西川 鑒海	313
日中貿易と村田省蔵先生……………	日本国際貿易促進協会副会長 萩原 定司	315
中国は日本人の魂のふるさと……………	真言宗善通寺派管長 蓮生 善隆	318
「白毛女」の交流……………	松山バレエ団監事 松山 樹子	319
大野林火と中国……………	俳人協会 村井 隆	321
中国人強制連行の歴史に光を……………	元札幌華僑総会会長 劉 智 渠	325
母、長谷川テルのこと……………	北京二七工場大学教師 劉 曉 蘭	328

(五十音順)

【解 説】

戦後の日中関係……………	日中学院院長 安藤彦太郎	334
--------------	--------------	-----

【評 論】

日中平和友好条約10周年に思う……………	京都大学名誉教授 井上 清	348
光華寮問題の大阪高裁判決は国際法違反……………	北京大学国際法教授 趙 理 海	356
平等互惠の中日経済交流を……………	前深圳大学副学長 方 生	365
日本の中国侵略と日中関係……………	中央大学教授 伊藤 成彦	371

【資 料】

周恩来総理の田中角栄総理歓迎宴における挨拶文(1972年9月)……………	384
田中角栄総理の周恩来総理主催歓迎宴における挨拶文(1972年9月)……………	386
大平正芳外務大臣の日中国交正常化の際の記者会見詳録(1972年9月)……………	388
福田赳夫総理の鄧小平副総理歓迎宴における挨拶文(1978年10月)……………	388
鄧小平副総理の福田赳夫総理主催歓迎宴における挨拶文(1978年10月)……………	389
胡耀邦総書記の「青年の集い」における講演(1983年11月)……………	390
中曽根康弘総理の北京大学における講演(1984年3月)……………	392
王兆国代表の中日友好二十一世紀委員会第三回会議の演説(1986年9月)……………	398
竹下登総理の西安における演説(1988年8月)……………	402
李鵬首相の竹下登総理主催歓迎宴における挨拶文(1989年2月)……………	408
劉大年人大常務委員の人大常務委員会第6回全体会議における演説(1989年2月)……………	409
日本外務省条約課長による日中共同声明の解説(1972年10月)……………	411

【年 表】

日中国交回復までの出来事(1949年10月—1971年12月)……………	天津外国語学院日本学系主任 修 剛	415
--------------------------------------	-------------------	-----

【日中両国地図】……………

427

【編集後記】……………

編集長 林 愛 蘭 428

一衣带水
——中日邦交正常化后中日关系之回顾——
(1972.9——1989.4)
目 录

【挥 毫】

(日本方面)	日中经济协会常任顾问 冈崎嘉平太	6
	众议院议员 土井多贺子	7
(中国方面)	邓 颖 超	8
	中华人民共和国总理 李 鹏	9
	中国人民政治协商会议全国委员会副主席 赵 朴 初	10
	中日友好21世纪委员会中方首席委员 张 香 山	12
	中华全国妇女联合会副会长 林 丽 韞	13
	中国外交部部长助理 文 迟	14
中日政府联合声明		16
中日和平友好条约		18

【发刊词】	旅日华侨中日交流促进会代表 林 同 春	19
-------	---------------------	----

【贺 词】

(日本方面)		
发展人民之间的友谊才是日中友好的最可靠的保证	日本中国友好协会会长 宇都宫德马	21
以对中国人民的感激之情来促进日中友好	日中经济协会常任顾问 冈崎嘉平太	22
汲取历史教训进一步发展日中友好	参议院议员 田 英夫	23
认真地反省过去的历史	众议院议员 土井多贺子	24
更进一步推动日中关系向前发展	日本驻中国特命全权大使 中岛敏次郎	25
祝词	日中协会会长 向坊 隆	27
为了和平友好的未来，日中妇女团结起来	拥护和平宪法妇女会 渡边 道子	28
	(姓氏按日语五十音顺序)	
(中国方面)		
纪念中日和平友好条约缔结10周年	中国日本友好协会会长 孙 平 化	30
我对中日两国关系的期待	中国驻日本特命全权大使 杨 振 亚	33
祝词	中国对外友好协会副会长 黄 世 明	35

【照片与解说】

1. 绚丽多彩的中日友好	37
2. 邦交正常化后的中日关系(1972.9—1989.4)	101
3. 邦交正常化前的中日关系(1949.10—1972.8)	225
4. 发展友好关系的新的力量—日益扩展的友好城市、友好省县的纽带	253

【寄语《一衣带水》】

从“满州国学生会馆”到“日中友好会馆”	日中学院副院长 江尻 健二	298
我们站在山岭上	日中友好协会 鹿岛 龙男	300
留在指纹按捺制度上的侵华及侵略亚洲的伤痕	大阪经济法科大学校长 川久保公夫	302
建起世代友好的大军	日中经济贸易中心会长 木村 一三	306
藤山先生与中国	日中科学技术文化中心顾问 今野 良藏	308
大塚有章与中国	毛泽东思想学院管理委员会委员长 竹田 幸子	311

僧衣与一衣带水日中友好宗教人士恳谈会理事长 西川 鉴海 313
日中贸易与村田省藏先生日本国际贸易促进协会副会长 萩原 定司 315
中国—日本人精神世界的故乡真言宗善通寺派管长 莲生 善隆 318
“白毛女”的交流松山芭蕾舞团监事 松山 树子 319
大野林火与中国俳句诗人协会 村井 隆 321
愿被押送到日本的中国俘虏的历史大白於世原札幌华侨总会会长 刘 智 渠 325
像母亲那样做中日友好的促进者北京二七厂大学教师 刘 晓 兰 328
(姓氏按日语五十音顺序)

【解 说】

战后日中关系日中学院院长 安藤彦太郎 334

【评 论】

日中和平友好条约签订10周年随感京都大学名誉教授 井上 清 348
日本法院对光华寮案的审判严重违反国际法北京大学国际法教授 赵 理 海 356
平等互惠进一步改善中日经济贸易关系前深圳大学副校长 方 生 365
日本对中国的侵略与日中关系中央大学教授 伊藤 成彦 371

【资料篇】

周恩来总理在欢迎田中角荣总理大臣宴会上的讲话(1972年9月) 384
田中角荣总理大臣在周恩来总理主办的欢迎宴会上的讲话(1972年9月) 386
大平正芳外务大臣在中日邦交正常化之际举行的记者招待会上的问答详记(1972年9月) · 388
福田赳夫总理大臣在欢迎邓小平副总理的宴会上的讲话(1978年10月) 388
邓小平副总理在福田赳夫总理大臣主办的欢迎宴会上的讲话(1978年10月) 389
胡耀邦总书记在“青年集会”上的演讲(1983年11月) 390
中曾根康弘总理大臣在北京大学的演讲(1985年3月) 392
王兆国代表在中日友好21世纪委员会第2次会议上的讲话(1985年10月) 398
竹下登总理大臣在西安的讲话(1988年8月) 402
李鹏总理在欢迎竹下登总理大臣的宴会上的讲话(1989年2月) 408
人大常委会委员刘大年在人大常委会第6次全体会议上的讲话(1989年2月) 409
日本外务省条约局长关于中日联合声明的解说 411

【年表】中日邦交正常化前大事记(1949年10月—1971年12月)天津外国语学院日语系 主任 修 刚 415

【中日两国地图】 427

【编者后记】编辑 林 爱 兰 428

一衣帶水

国交回復後の日中関係を回顧する

中日邦交正常化后中日关系之回顾

(1972.9—1989.4)

日中經濟協會常任顧問 岡崎嘉平太先生
日中经济协会常任顾问 冈崎嘉平太先生

日中青年的友誼
千秋萬歲
同心協力

岡崎嘉平太



地土井久天長
友誼永遠

土井多賀子



中日友好，
世代传。

邓颖超

1989.5

中华人民共和国国务院总理 李 鹏先生
中華人民共和國國務院總理 李 鵬先生

一衣帶水

李鵬

一九九九年
四月十四日

更回顧兩千年的弟兄情誼。

歷史要千萬珍惜。

未來要加倍努力。

讓我們的眼晴注視着廿一世紀，

讓我們的心血交流到廿一世紀

為中日青年的進步和幸福。

為世界的和平永遠合作在一起！

一九八六年六月 於北京



中日国交回復十五周年記念題辭
旅日華僑中日交流促進会の為につくる

趙樸初

めでたしや 十五年前のよろこび

実に得がたからずや。

水を飲み、井戸掘る人を忘れられない。

同胞華僑の力もあり。

十五年来の友好よ

一シャベル一シャベルと、

高山に土がつもるがごとく、

絶ゆることなく続く熱情よ

黄河長江、永遠に流るがごとし。

更に回顧す、二千年もの兄弟の情を。

歴史を銘記して

未来に向けて一層に尽力すべし。

われらの目を 二十一世紀に向け、

われらの心血を二十一世紀に注がん。

中日青年の進歩と幸福のために、

世界平和と永遠なる協力の為に。

中日邦交恢復十五周年紀念題詞為
旅日華僑中日交流促進會作

趙樸初

十五年前的大喜，
得來真是不易。
飲水不忘掘井人，
也有着僑胞的努力。

十五年來，的友誼，
一鏟、泥土向高山堆積，
堅持不懈的熱情，
像黃河、長江長流不息。

遵循中日两国政府联合声明、中日和平友好条约和中日关系四原则，排除影响两国友好的各种障碍，使中日两大民族之间的睦邻友好关系长期稳定地发展下去，在二十一世纪结出更为丰硕的果实。

張香山
一九八八年六月



中日両国政府の共同声明、中日平和友好条約及び中日関係四原則に基づき、両国友好関係に影響を及ぼすあらゆる障害を排除して、中日両民族間の近隣友好関係を安定に長期にわたって発展させ、二十一世紀において一層豊かな成果を実らせるようにしましょう。

張 香山

一九八八年六月

中华全国妇女联合会副会长 林 丽 韞女士
中華全國婦女聯合會副會長 林 麗 韞女史

和

为贵

林丽韞

一九八八年一月

揮毫／挥毫

中国外交部部长助理 文 迟先生
中国外交部部長助理 文 遲先生

富士平
秋實長
江軍王
法利王

賀中日邦交恢復十六週年
中日和平友好條約簽訂十週年
法利王 成長秋實長



日本国政府と中華人民共和国政府の共同声明

日本国内閣総理大臣田中角榮は、中華人民共和国国務院総理周恩来の招きにより、1972年9月25日から9月30日まで、中華人民共和国を訪問した。田中総理大臣には大平正芳外務大臣、二階堂進内閣官房長官及びその他の政府職員が随行した。

毛沢東主席は、9月27日に田中角榮総理大臣と会見した。双方は、真剣かつ友好的な話し合いを行なった。

周恩来総理及び姬鵬飛外交部長と田中総理大臣及び大平外務大臣は、日中両国間の国交正常化問題をはじめとする両国間の諸問題及び双方が関心を有するその他の諸問題について、終始、友好的な雰囲気の中で真剣かつ卒直に意見を交換し、次の両政府の共同声明を発出することに合意した。

日中両国は、一衣帯水の間にある隣国であり、長い伝統的友好の歴史を有する。両国人民は、両国間にこれまで存在していた不正常な状態に終止符を打つことを切望している。戦争状態の終結と日中国交の正常化という両国人民の願望の実現は、両国関係の歴史に新たな一頁を開くこととなる。

日本側は、過去において日本国が戦争を通じて中国人民に重大な損害を与えたことについての責任を痛感し、深く反省する。また、日本側は、中華人民共和国政府が提起した「復交三原則」を十分理解する立場に立って国交正常化の実現をはかるという見解を再確認する。中国側は、これを歓迎するものである。

日中両国間には社会制度の相違があるにもかかわらず、両国は、平和友好関係を樹立すべきであり、また、樹立することが可能である。両国間の国交を正常化し、相互に善隣友好関係を発展させることは、両国人民の利益に合致するところであり、また、アジアにおける緊張緩和と世界の平和に貢献するものである。

一、日本国と中華人民共和国との間のこれまでの不正常な状態は、この共同声明が発出される日に終了する。

二、日本国政府は、中華人民共和国政府が中国の唯一の合法政府であることを承認する。

三、中華人民共和国政府は、台湾が中華人民共和国の領土の不可分の一部であることを重ねて表明する。日本国政府は、この中華人民共和国政府の立場を十分理解し、尊重し、ポツダム宣言第八項に基づく立場を堅持する。

四、日本国政府及び中華人民共和国政府は、1972年9月29

日から外交関係を樹立することを決定した。両政府は、国際法及び国際慣行に従い、それぞれの首都における他方の大使館の設置及びその任務遂行のために必要なすべての措置をとり、また、できるだけすみやかに大使を交換することを決定した。

五、中華人民共和国政府は、中日両国人民の友好のために、日本国に対する戦争賠償の請求を放棄することを宣言する。

六、日本国政府及び中華人民共和国政府は、主権及び領土保全の相互尊重、相互不可侵、内政に対する相互不干渉、平等及び互恵並びに平和共存の諸原則の基礎の上に両国間の恒久的な平和友好関係を確立することに合意する。

両政府は、右の諸原則及び国際連合憲章の原則に基づき、日本国及び中国が、相互の関係において、すべての紛争を平和的手段により解決し、武力又は武力による威嚇に訴えないことを確認する。

七、日中両国間の国交正常化は、第三国に対するものではない。両国のいずれも、アジア・太平洋地域において覇権を求めず、このような覇権を確立しようとする他のいかなる国あるいは国の集団による試みにも反対する。

八、日本国政府及び中華人民共和国政府は、両国間の平和友好関係を強固にし、発展させるため、平和友好条約の締結を目的として、交渉を行なうことに合意した。

九、日本国政府及び中華人民共和国政府は、両国間の関係を一層発展させ、人的往来を拡大するため、必要に応じ、また、既存の民間取決めをも考慮しつつ、貿易、海運、航空、漁業等の事項に関する協定の締結を目的として、交渉を行なうことに合意した。

1972年9月29日に北京で

日本国内閣総理大臣	田中角榮（署名）
日本国外務大臣	大平正芳（署名）
中華人民共和国国務院総理	周恩来（署名）
中華人民共和国外交部長	姬鵬飛（署名）